

「車いす体験」から学ぶ

3年総合的な学習の時間



6月14日(火)・15日(水)の3年生の総合的な学習の時間に、東広島市社会福祉協議会の方々にお越しいただき、「車いす体験」授業を行いました。生徒は、車いすによる移動とその支援を通して、どうすれば車いすを利用されている人や足の不自由な人もすごしやすい世の中になるのかを考えました。

～生徒の感想より～

- 車いす体験を通して、普通に歩くときには不便だと感じないところを不便だと感じたり、直したほうが良いところなど色々なことが分かったりしました。実際に車いすに乗ったことによって気づけたので、同じ目線になることは皆が住みやすいところにするためには大切だと感じました。
- 車いすに乗っているときは、押してくれる人を信頼して身を預けないといけないと思いました。車いすに乗っている人を、見かけたときは、「何かお手伝いしましょうか」と声をかけていきたいと思いました。
- 優しい声かけがあるとすごく安心できると実感しました。私たちは簡単に手を洗ったり、段差を超えたりできるけれど、車いすに乗っていると難しかったり、怖かったりするんだと分かりました。